



# 繊維産業における 持続可能な調達の実践の 重要性と国際認証

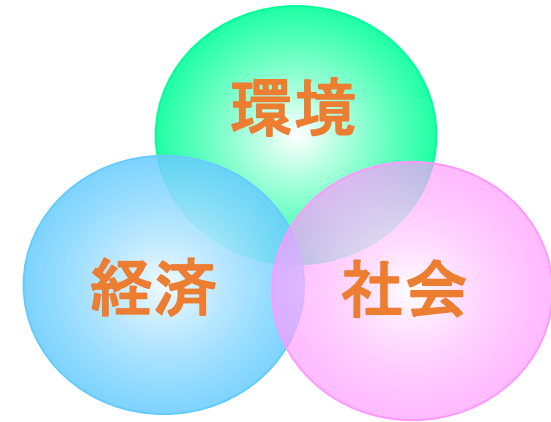
一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会  
代表理事 山口真奈美

## サステナブル・ラベル

(持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮につながる国際認証ラベル)



を普及させることで、  
倫理的な生産・流通・消費を促進し、  
持続可能な社会の実現に貢献することを目的としています。



人間の営みと  
生態系の調和

当協会では、「**買い物は未来への投票**」と捉え  
買い物をする人も、販売する人も、環境に負荷をかけず、  
社会的配慮された商品を見つけやすく、買いやすく、  
売りやすくするために、さまざまな**サステナブル・ラベル**を**普及啓発**しています。

サステナブル・ラベルを普及



サステナブル（持続可能） &  
エシカル（倫理的）な  
生産・流通・消費を促進



サステナブル・ライフスタイルを  
実践するためのツールに  
認証ラベル付き製品や  
サステナブル経営の企業を選択！



持続可能な社会の実現に貢献

- 様々な認証ラベルの団体（スキームオーナー）の活動支援と共に、普及啓発サポート
- 各々の普及啓発 + サステナブル・ラベルという大きな傘で総称し活動支援することで、横ぐしでの各団体の連携も強化
- 企業の持続可能な責任ある調達を推進
- 各々の認証に取り組む事業者・関係者を業界の垣根を超えた交流促進することで、サステナビリティ活動を支援
- サステナブル・ラベルを通じて、消費者・行政へのコミュニケーションを促進

+  
•  
。

# 持続可能な調達と認証

+  
○  
•

# 様々な課題



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION



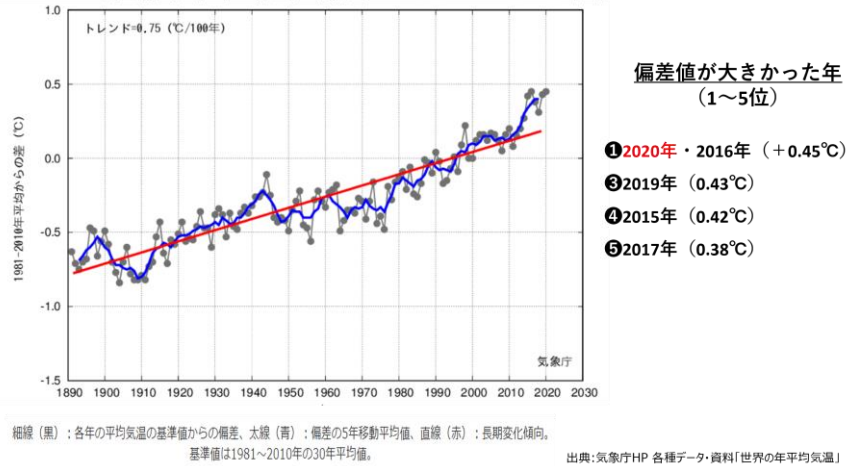
SHUTTERSTOCK (c) FAIRCHILD PUBLISHING, LLC



# 世界の人為的なCO2排出量の推移と平均気温変化予測

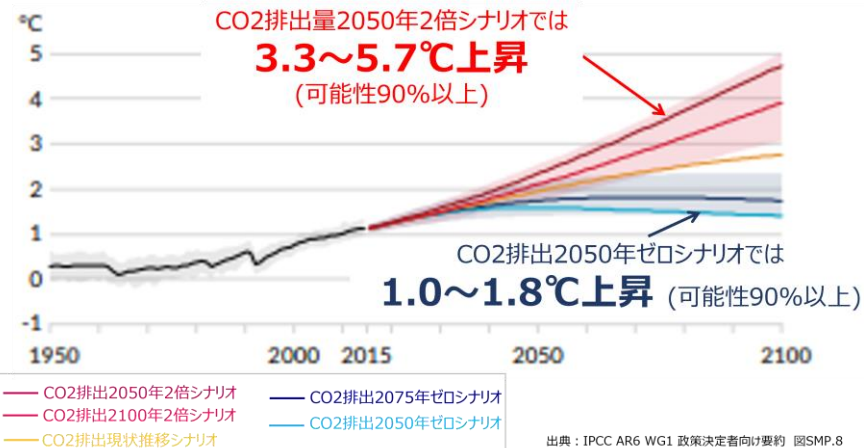
## 2015年以降の平均気温の上昇傾向が顕著

<世界の年平均気温偏差：1981～2010年平均気温との偏差>



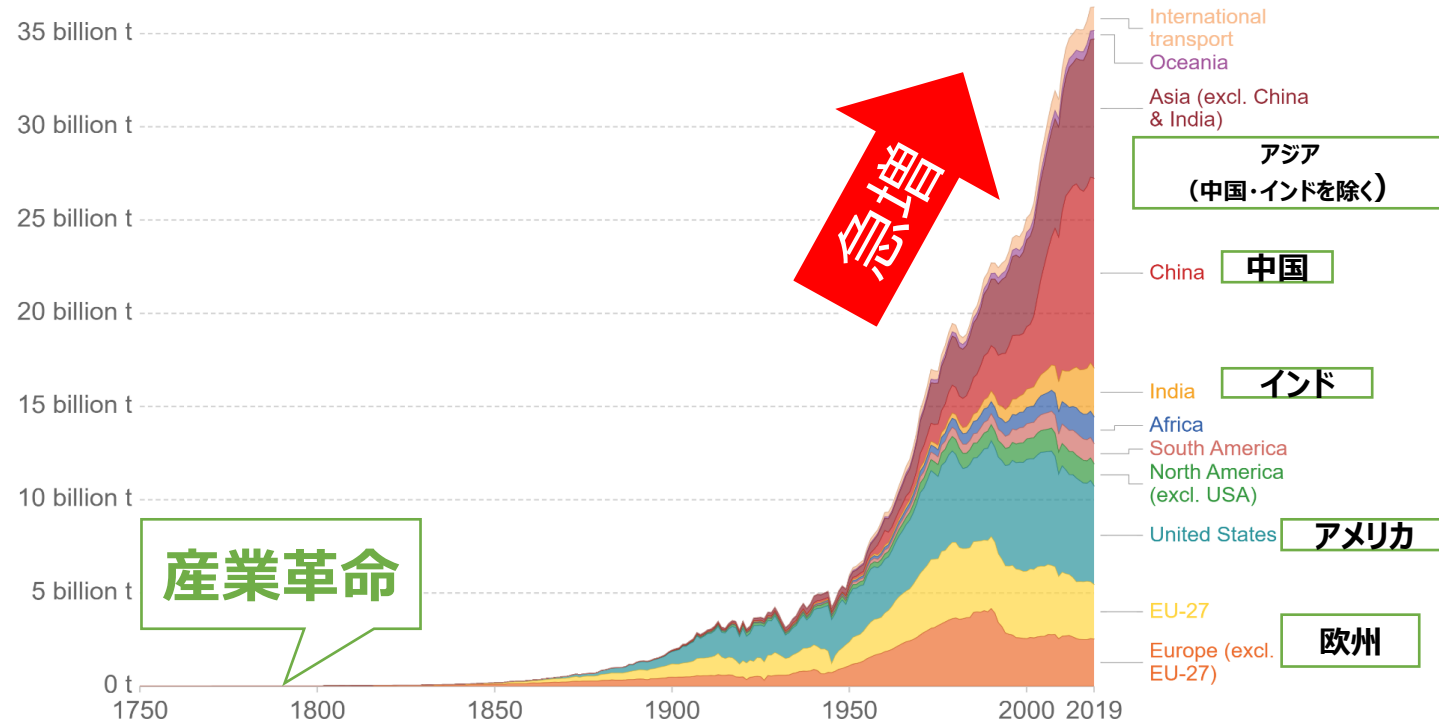
## 21世紀末に最大で5.7°C上昇の可能性がある

(1850年～1900年を基準とした変化)



## Annual total CO2 emissions, by world region

This measures CO2 emissions from fossil fuels and cement production only – land use change is not included.

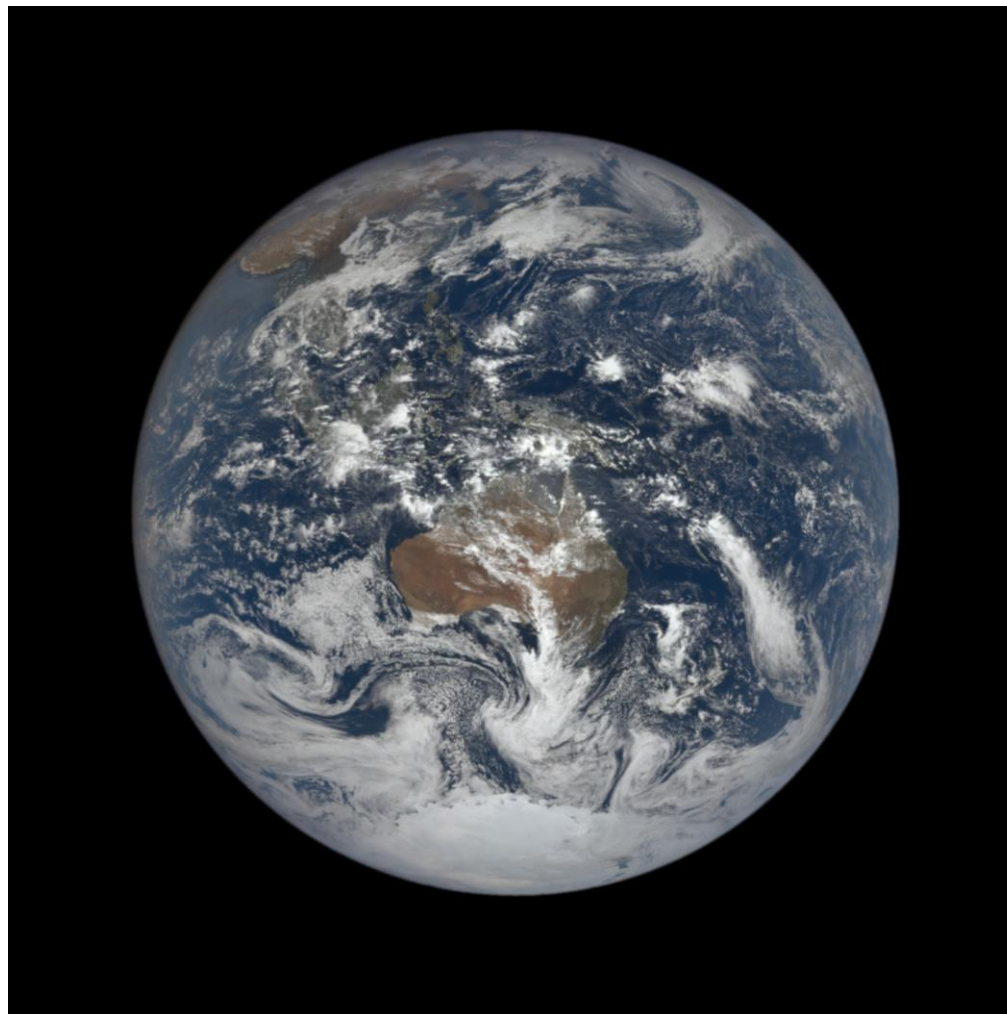


Source: Our World in Data based on the Global Carbon Project OurWorldInData.org/co2-and-other-greenhouse-gas-emissions • CC BY  
Note: 'Statistical differences' included in the GCP dataset is not included here.

※このグラフが対象とした人為起源のCO2とは、化石燃料の燃焼、セメント生産  
出典：Our World in Data CO2 emissions

人為起源のCO<sub>2</sub>排出量 (億トン-CO<sub>2</sub>換算/年)

# 私達の暮らし = 消費と、地球の生産力のバランス



出典：[https://epic.gsfc.nasa.gov/archive/natural/2022/11/26/png/epic\\_1b\\_20221126023357.png](https://epic.gsfc.nasa.gov/archive/natural/2022/11/26/png/epic_1b_20221126023357.png)  
(<https://www.footprintnetwork.org/>)

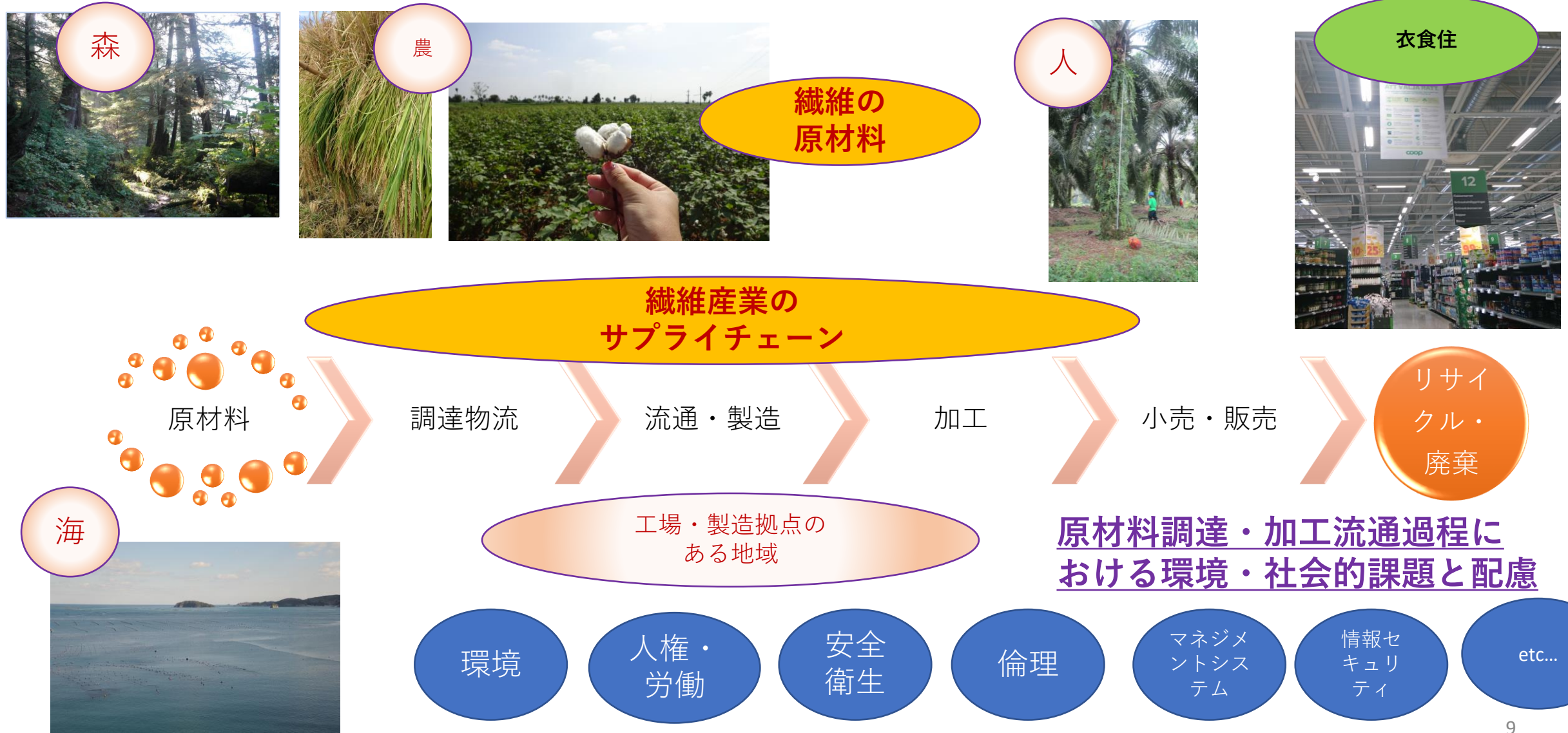


海外と日本、私たちは  
繋がっています





# サステナブル経営、持続可能な責任ある調達とサプライチェーン



原材料調達・加工流通過程における環境・社会的課題と配慮

サステナブル経営



単なる社会貢献・イメージ戦略ではない

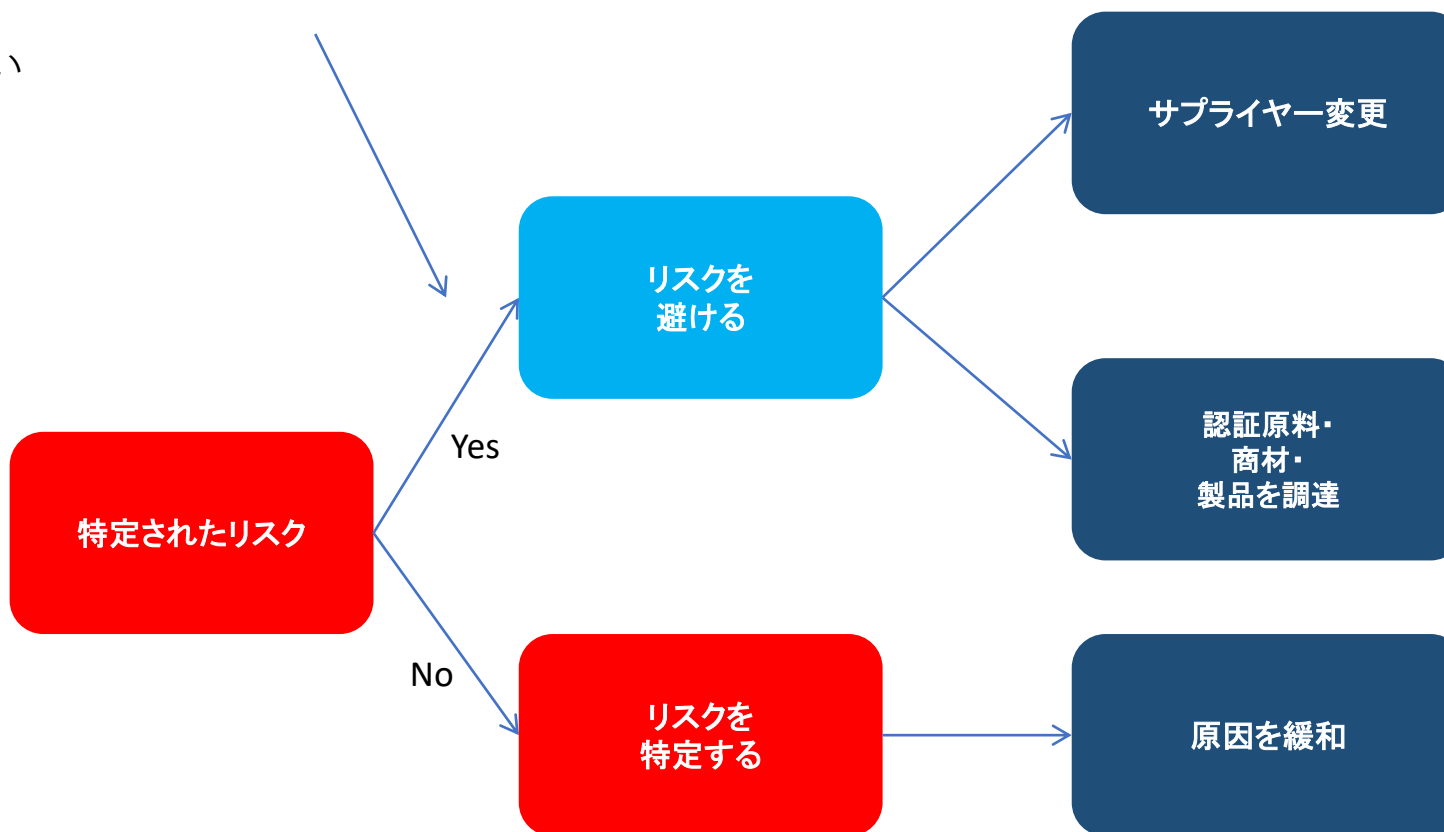
地球環境や社会情勢の変化で、  
原料となる資源が  
調達できなくなってしまう  
ら・・・

今のビジネスモデル・  
商品ラインで持続的に経営が可能か？

- ※マテリアリティ（重要課題）の特定
- ※サステナブル経営方針
- ※サステナブル調達

**調達方針の策定の重要性**  
(持続可能な責任ある調達の方針・基準・ガイドライン等)

リスクは  
避けられるか？



自社の事業活動を見直し、原料調達から  
販売・廃棄・リサイクルに至るまで

1. 環境・社会面での影響の把握  
(人権・労働慣行・環境・公正な事業慣行  
消費者課題・コミュニティ参画及び開発)
2. バックカスティング
3. 調達基準やガイドラインの策定
4. 国際基準との検証
5. 実行方法の検討と中・長期計画
6. 定期的な検証・情報開示
7. 客観的裏付け情報等

気候危機等にもどのように対応するか

TCFD (Task Force on Climate-related Financial  
Disclosures :

気候関連財務情報開示タスクフォース)

企業の気候変動への取組みや影響に関する財務情報についての  
開示のための枠組み

生物多様性版

TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures :  
自然関連財務情報開示タスクフォース)

30by30

「国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 」 (IFRS財団)

サステナビリティ経営と情報開示

# EUサステナビリティに向けた動き

コミュニケーション持続可能な製品を標準  
“Communication on making sustainable products the norm”

<持続可能な製品のためのエコデザイン規則案>  
耐久性、再利用可能性、改良・修理可能性、  
エネルギー効率性等の基本要件及び消費者のための  
情報開示を義務づけ。 繊維：優先分野の1つ

<持続可能な循環型繊維戦略>  
2030年までに域内販売繊維製品について  
耐久性、リサイクル可能、リサイクル繊維活用、  
危険物質を含まない、労働者の権利等の社会権や  
環境に配慮したものにするという目標  
①デザイン要件の設定、②情報提供の強化、  
③過剰生産・過剰消費の廃止、  
④未使用繊維製品の廃棄の廃止等の対策を提言。

EU「企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令案」  
人権及び環境に関するデュー・ディリジェンスを義務化する指令案  
を公表。

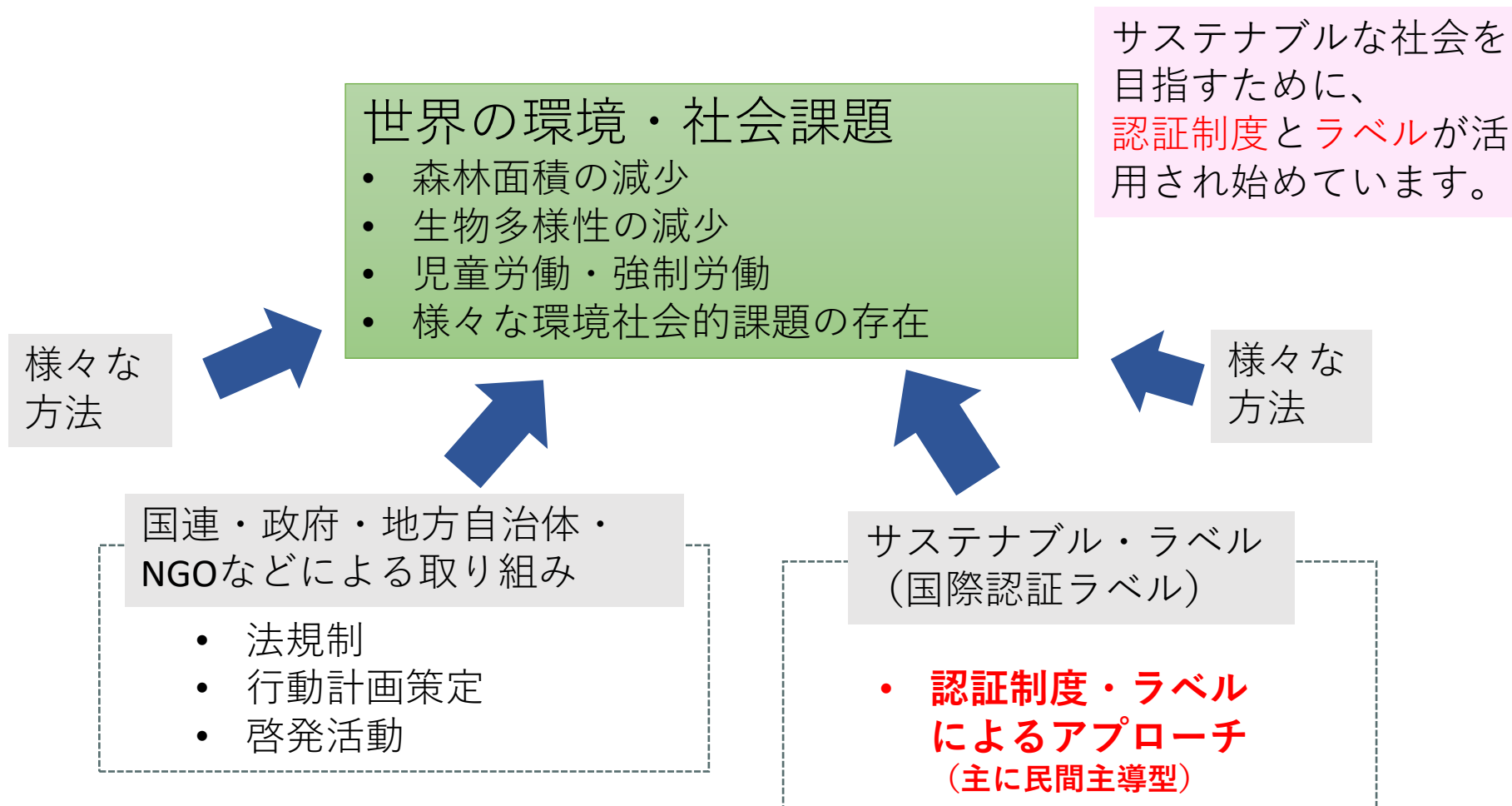
EUDR (EU DEFORESTATION REGULATION :  
EU森林減少フリー製品に関する規則)

「グリーン・クレーム (Green Claim) 指令案 (GCD) 」  
欧州理事会  
一般的な環境主張の禁止を含む  
グリーンウォッシングから消費者を保護することを目的として、  
企業に環境主張およびラベルの立証と検証を求める新しい規則案に  
関する交渉姿勢を採択。

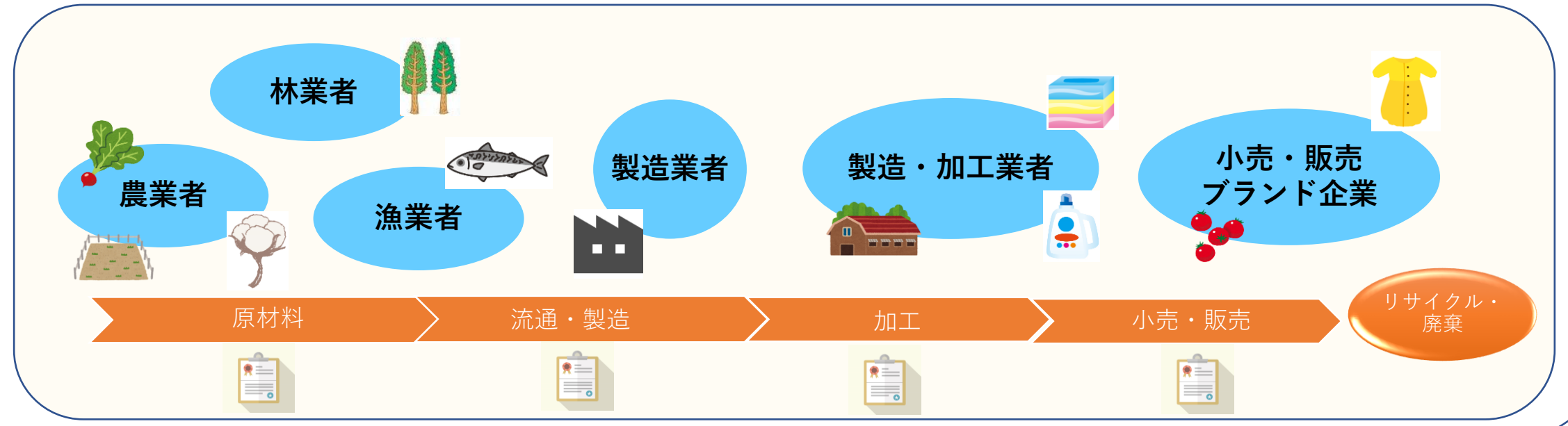
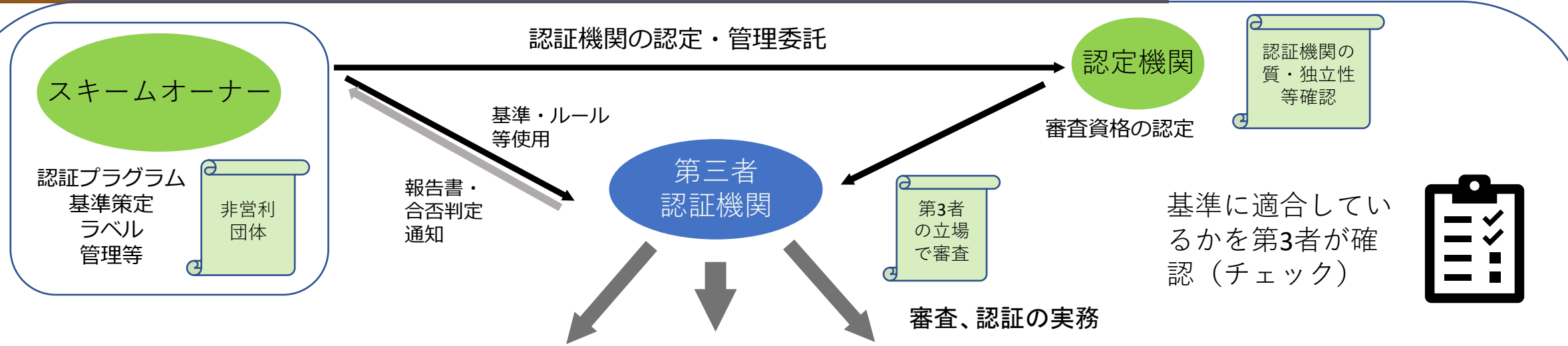
## 原材料からサプライチェーン 人権、環境への対応が急務

日本政府：責任あるサプライチェーン等における  
人権尊重のためのガイドライン (令和4年9月)  
**責任あるサプライチェーン等における  
人権尊重のための実務参照資料** を公表 (令和5年4月)

# サステナブルな社会を目指すには



# サステナブル・ラベル(国際認証ラベル)の仕組み



# さまざまなサステナブル・ラベル



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION



FSC® 「責任ある森林管理のマーク」  
(FSC label)



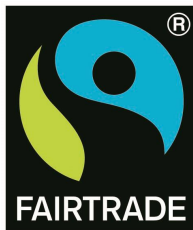
レインフォレスト・アライアンス  
認証マーク (Rainforest Alliance  
Certified seal)



OCS  
(Organic Content Standard)



MSC 「海のエコラベル」  
(MSC ecolabel)



国際フェアトレード認証ラベル  
(FAIRTRADE Mark)



GOTS: オーガニックテキスタイル  
世界基準  
(Global Organic Textile Standard)



ASC 水産養殖管理協議会  
(Aquaculture Stewardship  
Council)



有機JAS  
(Organic JAS Logo)



RSPO: 持続可能なパーム油の  
ための円卓会議 (Roundtable on  
Sustainable Palm Oil)



## Global Organic Textile Standard (GOTS)

ウールやコットン、絹などの原料  
繊維がオーガニック

+

繊維の収穫～加工～製造～流通の  
全ての過程において環境的・社会的  
的に配慮した方法が実行され、一  
般製品との混合や汚染がないよう  
に管理が必要

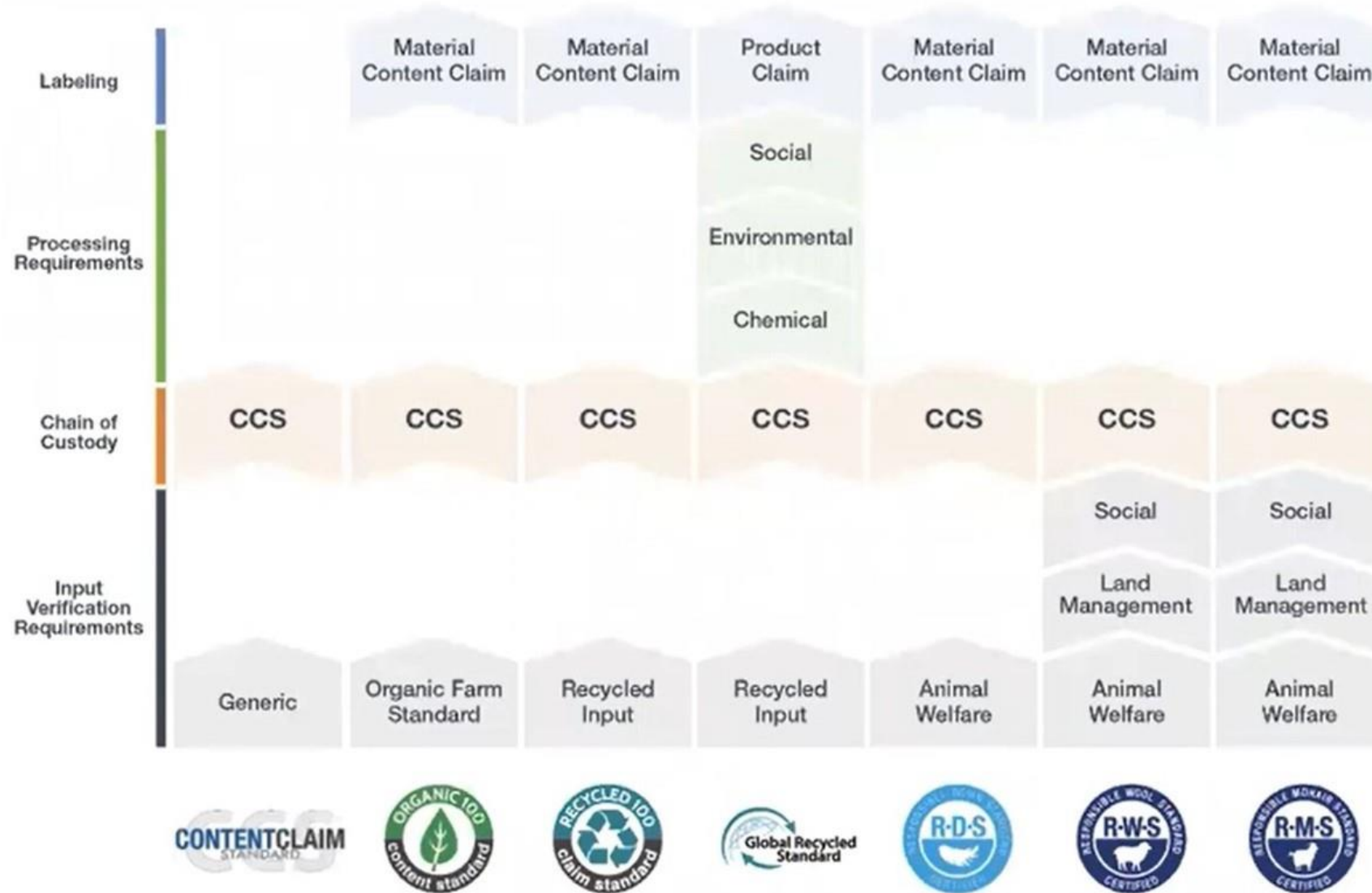
- 原料の70%以上が  
オーガニック繊維であること
- 加工がオーガニックな方法で  
行われている
- 遺伝子組換え技術を使用しない
- 水・エネルギーの使用に関して  
環境目標を設定している
- 毒性のある薬剤を使用しない
- 衛生的で安全な労働環境である
- 搾取や差別のない労働条件
- トレーサビリティーの確保

## トレーサビリティー & 環境社会的側面





# Textile Exchangeの基準



## Fairtrade

公正・適正な価格で取引すること

### 通常の貿易

- 市場価格の情報や販売先の選択肢の欠如により、末端の小規模生産者は、安く買い叩かれてしまう



### 引き起こされる問題

- 生産者の生活水準低下
- コスト削減を目的とした児童労働
- 過剰な農薬による環境破壊・健康被害

### フェアトレード - Fairtrade -

- 人と環境に配慮して生産されたものを適正な価格で取引し、持続可能な生産と生活向上を支援



### フェアトレードによる インパクト

- 適正価格の保証・プレミアムの支払
- 児童労働の禁止
- 環境に配慮した生産

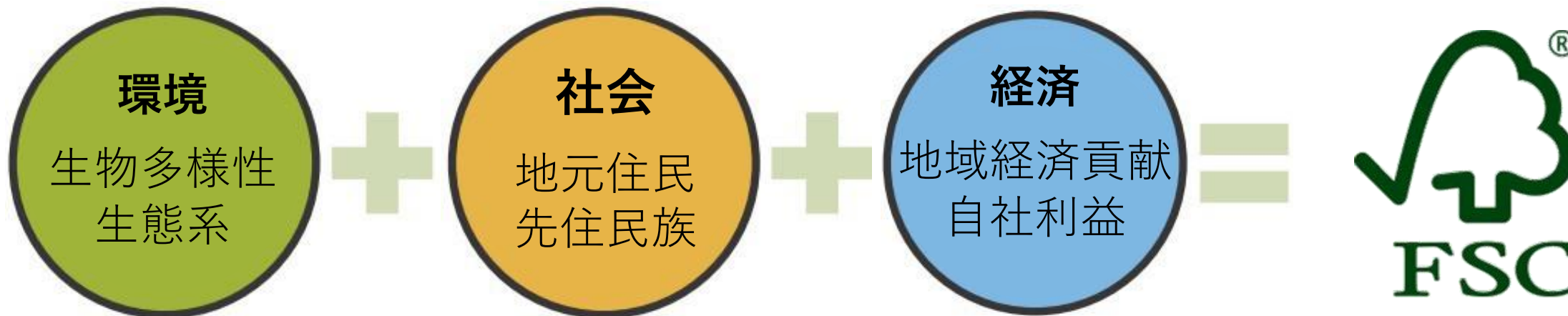




JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION



森林： FSC®（Forest Stewardship Council：森林管理協議会）



- |  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|
|  <p>1</p> <p>法律や国際的なルールを守っていること</p> |  <p>2</p> <p>働く人の権利や安全が守られていること</p>          |  <p>3</p> <p>先住民族の権利を尊重していること</p>        |  <p>4</p> <p>地域社会を支え、よい関係を築いていること</p>       |  <p>5</p> <p>さまざまな森の恵みを活かし、それらを絶やさないこと</p>   |
|  <p>6</p> <p>豊かな森林の自然環境を守ること</p>  |  <p>7</p> <p>いろいろな意見を聞きながら、森の管理を計画すること</p> |  <p>8</p> <p>森や管理の状態を、定期的にチェックすること</p> |  <p>9</p> <p>環境や文化など、その森が持つ大切な価値を守ること</p> |  <p>10</p> <p>環境に配慮した管理活動をきちんと実施していること</p> |

出典：FSC®資料より一部抜粋



世界共通の基準の採用



FAO等、国際ガイドラインに準拠



自然環境と生物多様性の保護に貢献



多様な利害関係者の意見を反映



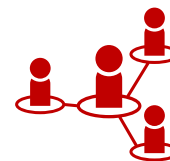
人権・地域社会に配慮



審査過程の高い透明性



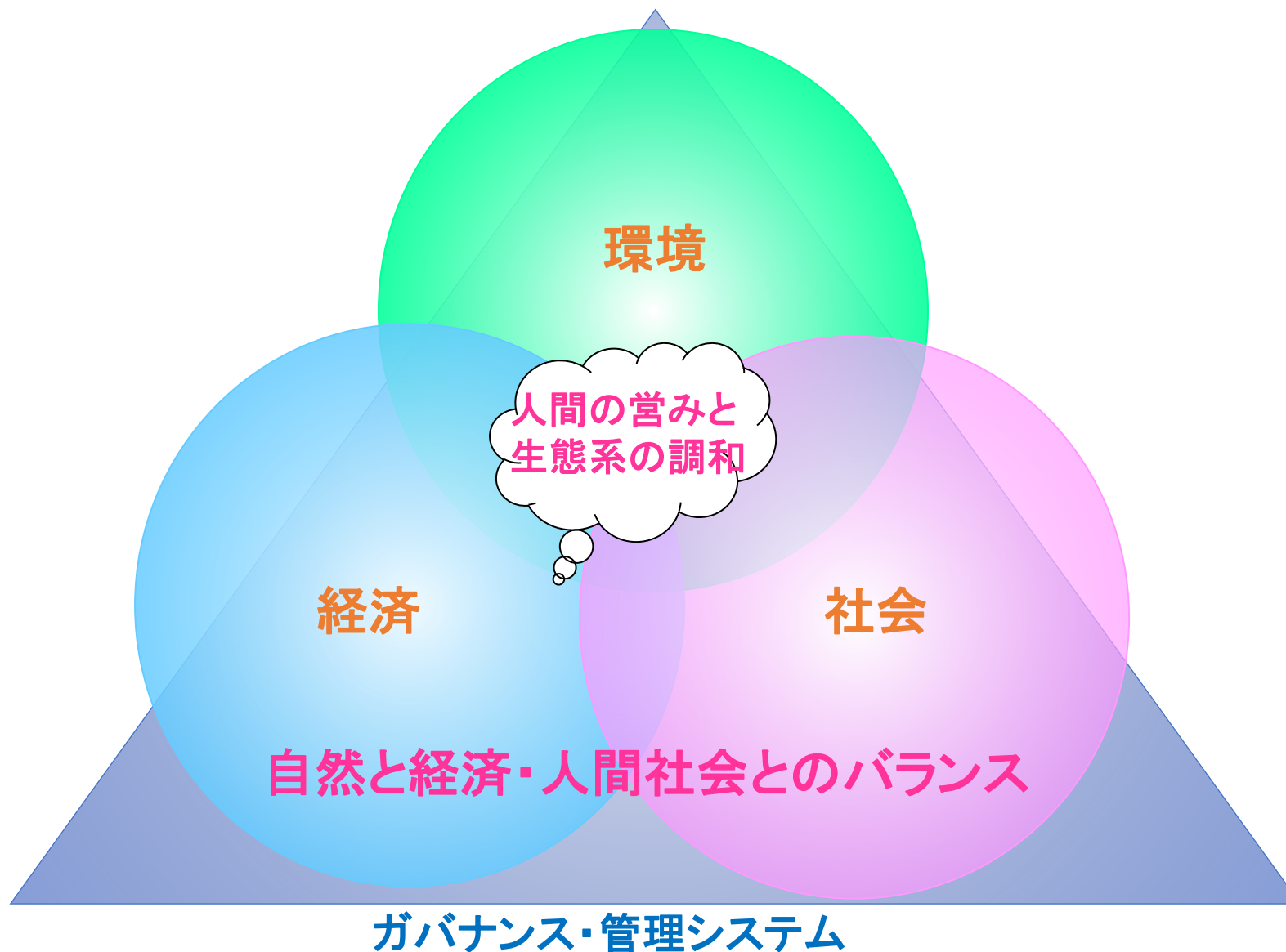
科学的根拠・客観的証拠に基づいた審査



認証製品のトレーサビリティを確保

## 第3者が審査・確認しているという信頼性・透明性

認証制度は環境・社会上の問題が、一定水準以上改善されているかを第三者が評価する仕組み



## エシカル消費の 様々な配慮の視点

「人や地域、社会、環境に配慮した  
行動や考え方」

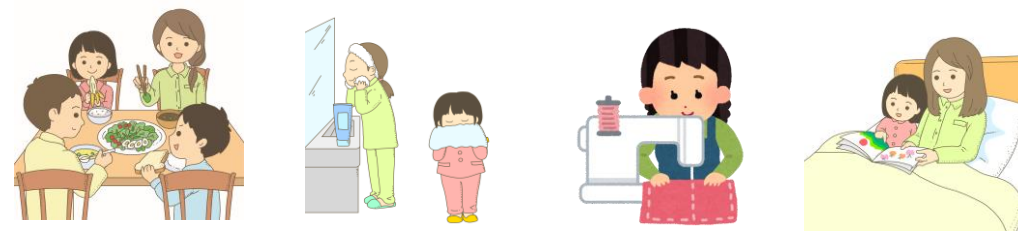
エシカル消費とは、  
そのような配慮がなされた  
「モノやサービスを選んで消費すること」

人

環境

社会

地域



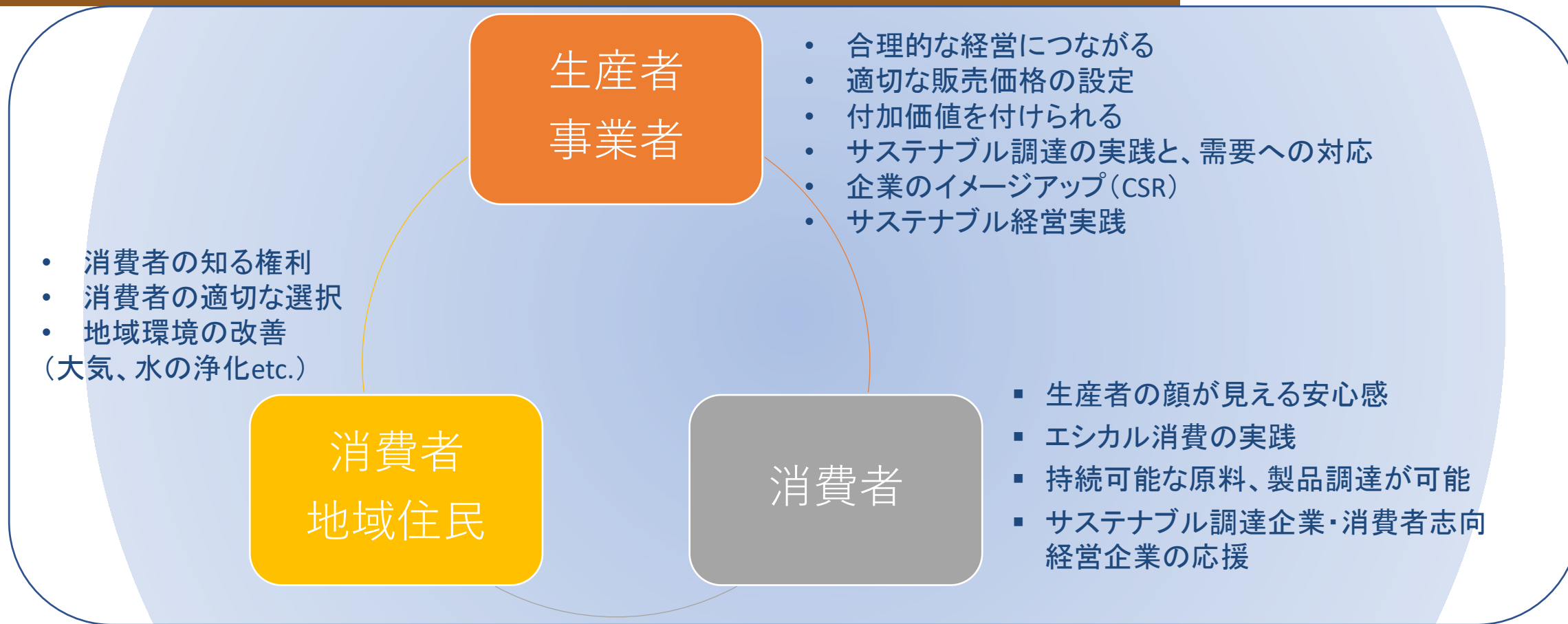
動物福祉

エシカル (ethical)  
「倫理的」「道徳上」  
という意味の形容詞

人や地域、社会、環境などに配慮されたものを「選択」

エシカル消費 ⇒ サステナブル・ライフスタイル

# サステナブル調達をもたらすもの



行政・公的機関等

サポート・情報提供・公共調達のサステナブル化・事業者の応援

すべての利害関係者にとって有益



国際認証ラベル（サステナブル・ラベル）を通じた、  
組織・世代間の交流・行政・企業・国際組織他、  
未来を創造し行動していく仲間たちとの協働

シンポジウム・展示会・  
行政・企業との協働  
コンサルティング  
講座・スクール・講演執筆等

サステナブル・ライフスタイル宣言2020 シンポジウム

「サステナブル・ライフスタイル宣言2020」シンポジウム  
～ユースと考える、サステナブルな未来のためのトランスフォーメーション～  
2020/10/10 (土) 13:00～17:00 オンラインにて開催

実行委員: SDGs for Schoolユース東京 (高校・大学) 山口真奈美 (一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会)

共催: 一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会

SDGs for School 未来教育デザインconfetto

プレゼンテーション参加ユース: 海城高校 / koko. / チーム給水機 / やませいせいふく  
ディスカッション参加ユース: 須藤 あまね氏 / 竹淵 謙氏 / 八木 実望氏

学生と大人、学んで、伝えて、未来をつくる

## サステナブル・ラベルスクール zoom

vol.1 5/27 18:00～19:30  
講師 山口真奈美さん

QRコード

実行委員: SDGs for Schoolユース東京 (高校・大学) 山口真奈美 (一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会)

共催: 一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会

SDGs for School 未来教育デザインconfetto

実行委員: SDGs for Schoolユース東京 (高校・大学) 山口真奈美 (一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会)

共催: 一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会

SDGs for School 未来教育デザインconfetto

サステナブル・ラベルから始めるSDGs 買い物で気になるラベルを知ろう

ファッション&ビューティの認証に関するQ&A

OZ #サステナブルチャレンジ

「買う」で誰かの役に立つサステナブル・ラベル生活

ラベル付きのアイテムを買うことで持続可能な未来につながる

Numéro TOKYO

150 Logo & Goods

## サステナブルライフスタイル宣言2020シンポジウム



展示会



## サステナブル・ラベルスクール

## 取材記事他



# スキームオーナーの活動支援

JSL独自の事業の他、  
サステナブル・ラベルのスキームオーナーによる  
活動の支援（キャンペーン・アワード審査等）



フェアトレードミリオンアクション  
キャンペーン



「選ぼう！海のエコラベル」  
キャンペーン

※2022年度活動より



第3回FSCアワード審査員として参加  
FSCジュニア・アンバサダー決定！



書籍執筆等  
「概説 森林認証」

日用品にもよく見かけるようになった「森林認証のマーク」のついた製品を選ぶことは、  
これからの社会や企業に当たり前の責任として求められつつあります。

# 会員企業の活動支援・行政との連携

## 国際認証フォーラム



エコプロ特設ステージ  
(イオン様、サラヤ様、日本マクドナルド様)

スキームオーナー  
企業・行政  
国際機関（団体）  
消費者・学生等  
様々な方との連携  
個々プロジェクト等



あふの環 サステナウィーク  
セブンアンドアイホールディングス様

# 選択の基準 買い物は未来への投票

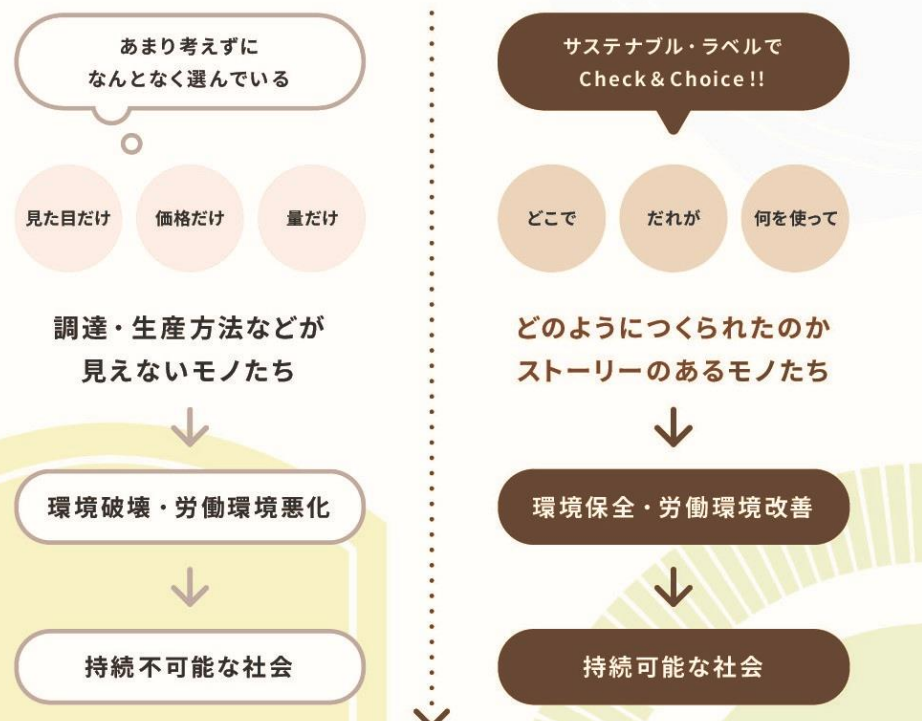
買い物は  
未来への  
投票です

日々の中で何気なく買っているものを  
サステナブル・ラベルで選ぶ。

サステナブル・ラベルとは、持続可能な原材料  
調達や環境・社会的配慮につながる、さまざま  
な国際認証ラベルをより多くの方に知って  
いただくために、当協会が命名した総称です。

一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会  
(JSL) は、サステナブル・ラベルを普及させ  
ることで、倫理的な生産・流通・消費を促進し、  
持続可能な社会の実現に貢献することを目的  
としています。

何を基準に選んでいますか？



あなたは、どちらの未来を選びますか？

## 企業・各国での調達・DD・可視化

調達方針：  
上場企業の調達方針  
(持続可能な責任ある調達の方針・  
基準・ガイドライン等)

国際イベント (オリパラ・万博等)  
飲食業・ホテルチェーン・観光業等

国際的な法規制での動き  
(人権DD, EU他、  
各国で進むデューデリジェンス法)



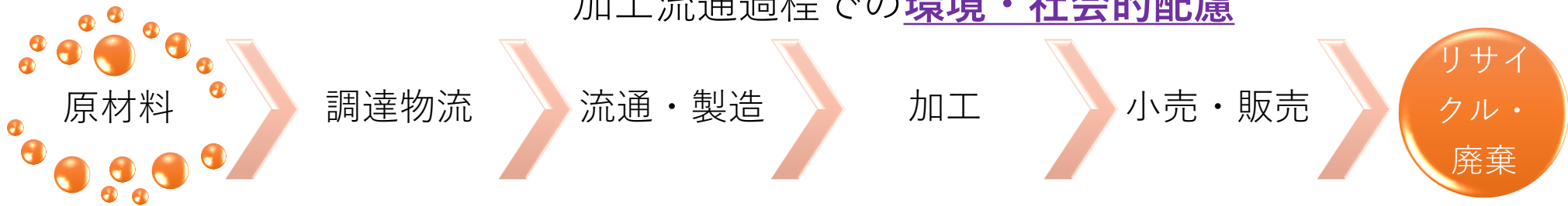
持続可能な責任ある調達

サプライチェーンマネジメント構築

サステナブル製品・サービス  
認証ラベル製品等

加工流通過程での環境・社会的配慮

エシカル消費



サステナブル・ライフスタイル

サステナビリティ経営・調達方針策定・認証活用・社内外教育・PR

認証・ラベル等の活用と情報開示 ⇒ サステナブル調達とエシカル消費の繋がり

資源の適切な循環



# ご清聴ありがとうございました

山口真奈美

ご意見は下記へお寄せください  
[manami@jsl.life](mailto:manami@jsl.life)

日本サステナブル・ラベル協会（JSL）担当：中嶋

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング21階

TEL : 03-5403-6550

E-mail : [info@jsl.life](mailto:info@jsl.life)

URL : <https://www.jsl.life/>

このプレゼンテーション文書の著作権は、一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会（代表理事：山口真奈美）もしくは引用元の組織等にありま  
事前の書面での許可なく、あらゆる形での複写、再利用、再配布、放送等は禁じられています。

万全の注意を払って作成していますが、内容の正確性等について保証するものではありません。